

平成21年度

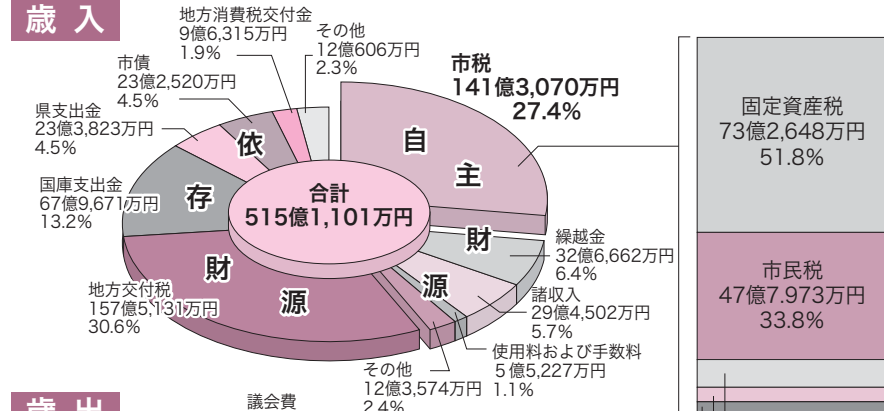
決算

限られた財源を 大切に使いました

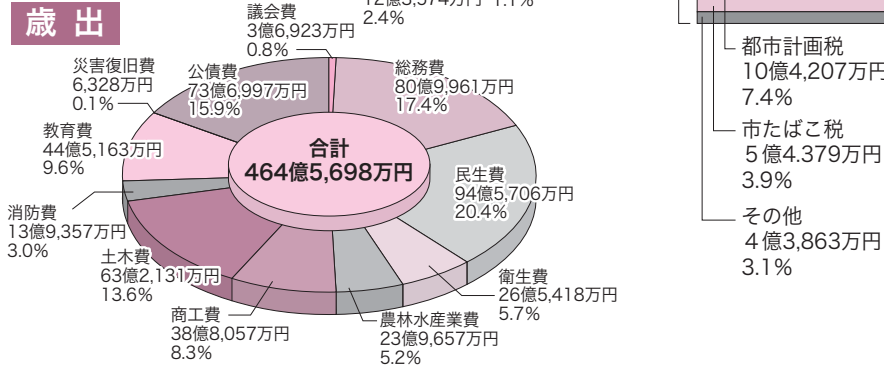
それぞれのご家庭に家計が、また、会社や団体ごとに収支決算があるように、市にも年度ごとに予算と決算があり、知恵を絞ってお金を大切に使っています。平成21年度決算が市議会定例会で認定されましたので、そのあらましをご紹介します。

● 入ったお金と使ったお金の内訳 (一般会計)

歳入



歳出



歳入 515億1,101万円 歳出 464億5,698万円 差引残額 50億5,403万円

● 特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業(事業勘定)	96億902万円	93億2,937万円	2億7,965万円
国民健康保険事業(直診勘定)	8億5,995万円	6億9,445万円	1億6,550万円
老人保健医療事業	1億6,210万円	277万円	1億5,933万円
下水道事業	47億2,768万円	46億5,923万円	6,845万円
地方卸売市場事業	5,261万円	4,736万円	525万円
学校給食費	4億2,279万円	4億2,270万円	9万円
簡易水道事業	8億5,444万円	8億2,055万円	3,389万円
農業集落排水事業	10億1,644万円	9億4,729万円	6,915万円
介護保険事業(保険事業勘定)	76億5,987万円	73億8,969万円	2億7,018万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	3,764万円	2,517万円	1,247万円
観光施設事業	9,737万円	5,877万円	3,860万円
スキー場事業	1億5,507万円	7,737万円	7,770万円
後期高齢者医療事業	9億3,627万円	8億8,870万円	4,757万円
計	265億9,125万円	253億6,342万円	12億2,783万円

※四捨五入で差引残額が合わない場合があります

財政指標に見る決算

市財政の健全な運営

● 財政力指数

基準値を1とし、1を超えるほど財政力が豊かであるとされている指標です。

高山市の財政力指数は、19年度、20年度とも0.56、21年度は0.55と前年度に比べて0.1ポイント低くなりました。

● 経常収支比率

財政の弾力性を計る指標で、支出のうち、人件費や公債費など必ず支払わなければならない固定的な経費が、市税や地方交付税などの収入に対してどれだけ占めているかをみたるものです。

率が低いほど臨時的な経費にお金を回せることになり、財政に余裕があることとなります。80%が健全財政の上限で、それ以上に